

StarPeople of Earth

スターピープル・オブ・アース
2005 Autumn VOL.16

5 141592651589793238462647383279502624197169359375105820974944592307616406286205916628054825342117067982148
66470938446095505822317253594780284811174502841827019385211055596446229489349303819644288109756659334461284
78326527120190914564635592346034861045432654821330350726024914127372458100660631558817488152092096239825409
9259010101138053054882048852198419535199151160941
4885751724891227938183011949129948673862110
467669405132000955812714525955027785771
56112129021960884034918159613629774
25082534168501526153118817107401
7519577818577805321712268066177
68995773622599413891249721771
770167113900584882401285835
4912933186770289891521047
093417216412199245863159

特集

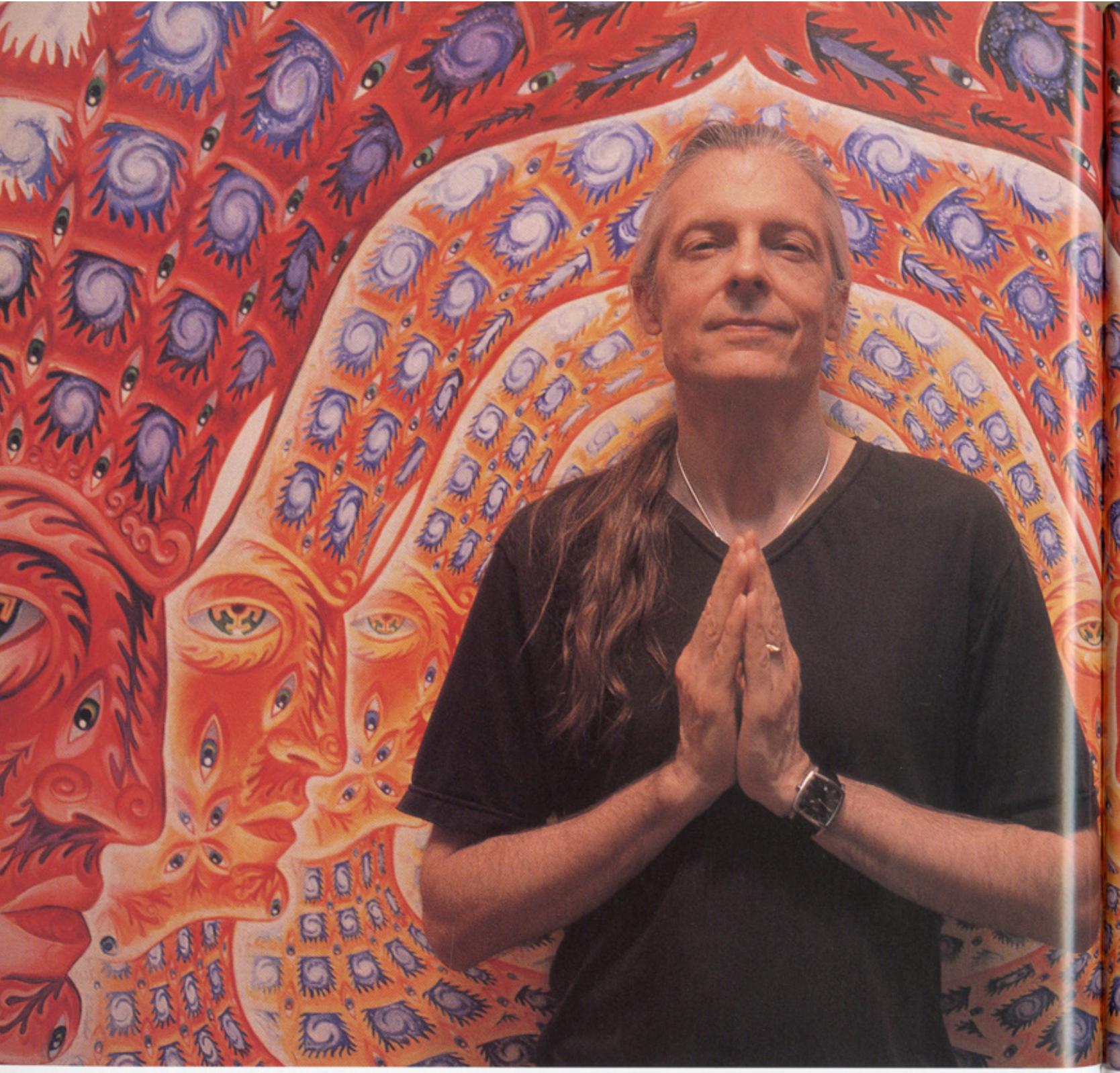
数字の神秘

Mystery of Numeric Characters

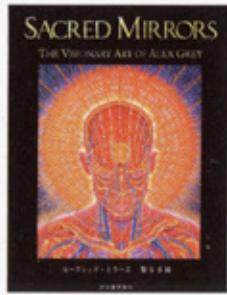
ひとの運命は、
数字に左右されるのか



1 180339887498948482045868343656381177203091798057628621354
622705260462818902449707207204189391137484754088075386891752
663386222353693179318006076672635443338908859593958290563832
613199282302678806752087668925017116962070322210432162695486
296313614438149758701220340805887954454749246185695364864449



実際に会ったアレックスは、
とても丁寧で繊細な方だった。
忙しいなか、時間を割いていただいたアレックス、
パートナーのアリソンにとても感謝しています。



『SACRED MIRRORS
(セーフレッド・ミラーズ 聖なる鏡)』
お問合せ先:
(株)FFJ/ フューチャーショップ AKA (担当桜井)
TEL 03-3794-7791
Eメール akura@d.email.ne.jp

NY の CoSM。チャペルと言うだけにとても神聖な場所だ。
展示してあるアレックスの壁画はかなり大きいサイズのものだら。





希望者はネイキッドでアレックスに写真を撮ってもらった。
その作品は8月から10月まで、
CoSMに隣接する MicroCoSMにて展示されている。



ALEX GREY Interview in NY

アレックス・グレイ 現地インタビュー

聖なる鏡を求めて

CoSM (Chapel of Sacred Mirrors) は、
ニューヨークにある瞑想のための聖地。

ここにはアレックス・グレイの絵画シリーズ
「SACRED MIRRORS」をはじめ、
神秘的で際立った作品が展示されている。

6月22日、CoSMで行われたフルムーンパーティーに合わせて
ニューヨークへ飛んだ。

以前から憧れていたアレックスの原画を見ることができたうえ、
念願のアレックス・グレイへの取材が実現した。

アレックス・グレイ

Alex Grey

1953年米国オハイオ州生まれ。サイケデリックアート界の巨匠。
解剖学、超心理、チベット密教を学び、
それらを独自のスタイルで
融合させたスピリチュアルで神秘的な作品を描いている。
NY在住。

取材・文・写真=松本英明

Interview & Photographs & Text by Hideaki Matsumoto

翻訳=T.Y

Translation by T.Y



祭壇にはサイババの写真や
チベット密教関係の品物や
花やヒンドゥーの神様なども
飾ってあった。

アリソンと私はその夜から一年ほど付き合いましたが、LSDを使いながら我々は泉となり、他の生き物や物体との光で繋がりそれを流していました。全ては激しく燃える光のすじで構成されていて、出たり入ったり、エネルギーを吸収したり放出したりしていたのです。

アレックス 私は私が持つイン

——本当に絵に描いたように見えるのですか？

アレックス 私の最初の LSD 経験は、アリソンが招いてくれた彼女のアパートでのパーティーでした。私は乳白光を放つ壁のトンネル内にいて、暗闇から明るい光へと向っていました。全ての極性は合体し、解決されていたのです。

アレックス アリソンが名を思いつきながら我々は泉となり、他の生き物や物体との光で繋がりそれを流していました。全ては激しく燃える光のすじで構成されていて、出たり入ったり、エネルギーを吸収したり放出したりしていたのです。

アレックス 私の最初のモノグラフ（ピクチャーブック）、「SACRED MIRRORS」は私の良い友人である桜井幸隆氏により日本語で出版されました。

もちろん私は日本の出版社が「TRANSFIGURATIONS」の日本語版を出版してくれることを歓迎します。

——高次元の光のビジョンを見るようになったきっかけは何ですか？

アレックス ナーヴィジョンを描こうとしています。
——[Chapel of Sacred Mirrors]というタイトルは誰が考えたのですか？

アレックス アリソンが名を思いつきました。我々全員がお互いに聖なる鏡に映し出された姿の反映なのです。私は神聖な場所を創造し、個人がそれぞれの神性の反映を見ることができればと思いました。

——「TRANSFIGURATIONS」の日本語版についてはどう考えていますか？